

総会開催にあたって

同窓会長 中元輝幸

本年も、ここに第十三回目の定期総会を迎えました。春は、第十四回生を迎え入れて...

一方、母校の方では、昨年同様、同窓会に教員として迎えられました。これら合計五名となり、いよいよ本校の...

王城木

富田(昇)・田鍋両先生ご転任

今春の職員定期異動において富田昇先生と田鍋憲先生が、ご転任になりました。

富田先生は、広大付属高校へ、田鍋先生は、因幡高等学校へそれぞれ転任になりましたが、両先生と...

富田昇先生 広島市西中町二丁目三五五  
田鍋憲先生 広島市古田町古江九四〇 倉本方

同窓二名母校に迎えられる

須藤(五回)・小村(十回)両氏

この春の異動の結果、昨春の三名に加えて、また二名の同窓が母校教師として迎えられた。

同窓生バッジ製作の計画

原案は在校生より募集

我が同窓会発足初期に、同窓会バッジが作成されたことがあったが、いつの間にか壊れてなくなっていた。

また、四月二十一日の学校側との連絡会の席上、正式に作ることに決定された。

役員会で色々検討された上、六月十七日の学校側との連絡会の席上、正式に作ることに決定された。

本年度名簿発行

本年度名簿(第十号)が、六月九日完成発行された。年々卒業生が増えるに従って厚くなり、本年の名簿は百六十一ページとなっている。

会員消息異動

- 十回(組) 菅野(組) 大隅 昭昭 下関市後田町四四一  
大畑 一恵 広島市牛田町旭区一  
小俣美代子 広島市白島東中町七  
菅野 茂樹 広島市牛田町旭区一  
佐伯 寛子 広島市白島東中町五  
鳴声 隆雄 久留米市大石町一  
菅野 孝子 安芸郡府中町六〇一

昭和38年度会計決算報告

Table with 2 columns: 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure). Total income is 506,820 and total expenditure is 506,820.

第十三回定期総会次第

- 一、開会のことば
- 一、同窓会長あいさつ
- 一、母校校長あいさつ
- 一、庶務経過報告
- 一、会計経過報告
- 一、会計監査報告
- 一、会則改正案について
- 一、次期役員承認
- 一、新役員あいさつ
- 一、閉会のことば

母校だより

尚、第三期工事は、本年中に行なわれると聞いている。本年四月の一年生は、終戦の子のピークで、高校生急増対策の矢張り立つた。母校でも創立以来初めての一学級五十五名編成で、計十クラス、一年生全部で五五〇名というマンモスぶり。

庶務・記録簿より

- 昭和三十七年十月十六日(金) 役員会 協議事項 一、東京支部発足について 一、会長上京の件
- 五月二十一日(日) 名簿校正のための第一回幹事会 一回十回生幹事出席
- 六月九日(日) 本年度第十号名簿発行 第十四回生への名簿配布
- 七月十日(水) 役員会 総会開催について(特に会員券の消化)

愛校心とは「我が学校」を愛する心である。各学校に各生徒、各同窓生に必ず愛校心はある。この心は恰も子が親を慕い家を懐く如く自然また必然心の働きであって、その自然にして本能的なことで、その働きの強烈なることには母を慕う心と全く均して、而もはるかに高級なものである。

愛校心

母校々長 正月正夫

五球でございまして、来年度からなお年間つづく高校生急増のピーク時を乗りきるためには、普通教育はもとより、高等学校の教育を充実させる特別対策も不十分でないので、普通教室四六〇坪、理科教室五球でございまして、来年度から...

三の懇請によって、ごころよく会長就任を承諾されました。これにより中央折衝は都栗氏により、また、市当局に対しては顧問である植田三氏、中島金平氏、山田辰美氏の三市会議員方の協力で、今後の校舎建設は軌道にのって進むものと思われま。

尚、第三期工事は、本年中に行なわれると聞いている。本年四月の一年生は、終戦の子のピークで、高校生急増対策の矢張り立つた。母校でも創立以来初めての一学級五十五名編成で、計十クラス、一年生全部で五五〇名というマンモスぶり。

○四月十日(水) 職員代表者に、勤務先別調査についての調査方を依頼する書状を発送 返送締切 四月三十日

